

えがお
愛顔の

とくべつしえんがっこうぎのうけんてい
えひめ特別支援学校技能検定

テキスト

せい しょう
清 掃

—ダスタークロス—



愛媛県イメージアップキャラクター
みきやん

えひめけんきょういくいいんかい
愛媛県教育委員会



R5年度（10訂版）

【ダスタークロス】てじゅんひょう手順表

せいげんじかん ぶん
制限時間6分

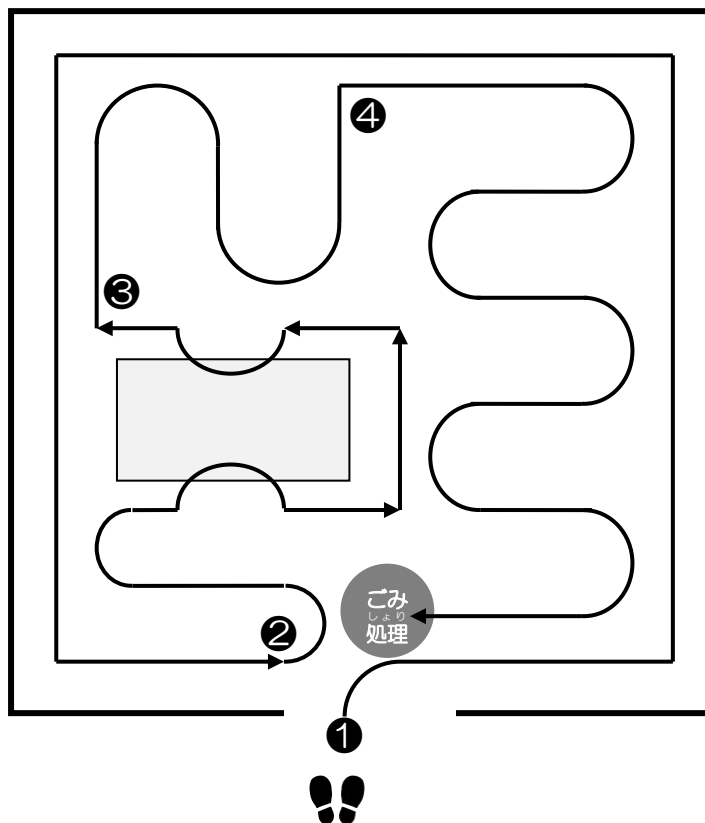
さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうないよう 作業内容	しゃしん とう 写真・イラスト等
1 み 身だしなみ	① せいそう ふくそう 清掃にふさわしい服装をする。 ② せいけつ き っ 清潔に気を付ける。	
2 どうくじゅんび 道具準備	① しんさいん ほん へんじ 審査員「〇番△△さん」返事をして、スタート位置に立つ。 しんさいん じゅんび はじ 審査員「準備を始めてください。」準備を始める。 ② どうく かくにん た ほうこく 道具を確認し、足りないものがあれば報告する。 さぎょうひょうじばん □作業表示板 □ダスタークロスヘッド □柄 □クロス □自在ぼうき (30cm) □文化ちりとり □ごみ箱 ③ ヘッドにクロスを取り付ける。 ④ ひつよう え なが ちょうせつ (必要があれば) 柄の長さを調節する。 ⑤ ヘッドに柄を取り付ける。 ⑥ じゅんび ほうこく 「準備ができました。」と報告する。	 
3 さぎょうかいし 作業開始  にゅうしつあいさつ 入室挨拶	① しんさいん さぎょう はじ 審査員「では、作業を始めてください。」 て あ なまえ はじ 手を挙げ「(名前)です。始めます。」と言う。 ② さぎょうひょうじばん た 作業表示板を立てる。 ③ ダスタークロスを持ち、「失礼します。」と一礼して室内に入る。	
4 じょじんさぎょう 除塵作業	① そと いぐち じょじん さぎょうばしょ はい 外から入口を除塵し、作業場所へ入る。 さいしょ いりぐち ふ ※最初に入口のゴミを踏まないように気を付ける。 さぎょうす じゅん さぎょう おこな 作業図 (I-(5)-①-2) の順に作業を行う。 はばきがわ ① 幅木側 つくえ した ② 机 の下 ちゅうおうぶ ③④ 中央部 ぜんしん できち む いっかしょ あつ ※前進しながら出口に向かって一箇所に集める。 ③ かたひざ え 片膝をついて、柄とヘッドをはずす。 ④ ヘッドからクロスをはずし、資機材置場のごみ箱の中に入れる。 ⑤ ヘッドと柄を資機材置場に戻す。	  

ある かくほ
歩くスペースを確保

5	ごみの しよりの 処理 てんけん 点検	① じざい 自在ぼうきと ぶんか 文化ちりとりで ごとみ を取る。 ② よすみ 四隅と ちゅうおう 中央、 つくえ 机の した 下に ごとみ の 取り残しが ないか かくにん 確認する。	
6	たいしつ 退室挨拶 かたづけ 片付け	① てくち 出口で、 室内 に向かっ て、「しつれい 失礼しました。」と 一礼 し退室する。 ② じざい 自在ぼうき、 ぶんか 文化ちりとり、 さぎょうひょうじばん 作業表示板を 資機材 おきば 置場 に戻す。	
7	さぎょうしゅうりょう 作業終了	① スタート 位置 に立ち、 手を 上げ 「おわり 終わりました。」 と ほうこく 報告する。 ② しんさいん 審査員 に 「ありがとうございました。」と あいさつ 挨拶する。	

さぎょうず
《作業図：ダスタークロス作業の手順》

ばんごう すす ほうこう じゅんばん あらわ
※番号は進む方向の順 番 を表す。クロスを動かす回数 は 適宜 変えて 構わ ない。



ダスタークロスは
さいご
最後まで 浮かさな
いように します。

【ダスタークロス】解説

1	<p>※【清掃の基本】解説 ①身だしなみを参照</p>
2 道具準備 てうぐじゅんび	<p>※【清掃の基本】解説 ②道具準備を参照</p> <p>■ダスタークロスは、ヘッド・柄・クロス<small>え みつ く あ</small>の三つを組み合わせたものですが、クロス<small>しより</small>の処理<small>あと</small>の後、床<small>ゆか</small>に残<small>のこ</small>ったごみを取り除くには自在ぼうきと文化ちりとりが<small>と のぞ じざい ぶんか</small>必要<small>ひつよう</small>です。</p>  <p>自在ぼうき (毛幅30cm) 文化ちりとり ごみ箱 作業表示板</p> <p>柄 ヘッド (63cm) クロス</p>  <p>かたひざ しせい ゆか ひろ ま なか 片膝をついた姿勢でクロスを床に広げ、その真ん中 にヘッドを置きます。ピンチを開き、ヘッドを上下か ら包み込むようにクロスを持ち上げて、しっかりと クロス<small>と</small>を留めます。</p>  <p>ひつよう おう え なが ちょうせつ 必要に応じて柄の長さを調節します。まっすぐ た え の め はな たか あ 立って柄を伸ばし、目から鼻くらいの高さに合わせま しょう。柄の長さを調整するのはヘッドを付ける前の 1回<small>かい</small>です。</p>  <p>え ヘッドを柄にセットします。 かた え かつ ゆか 肩に柄を担ぎ、(または、床に お え 置き)柄とヘッドのジョイント ぶん が しっかり か あ 部分がしっかり噛み合うよう にセットしましょう。</p>
3 作業開始 さくぎょうかいし	<p>※【清掃の基本】解説 ③作業開始、④入退室挨拶を参照</p>

4

除塵作業
じょじんさぎょう

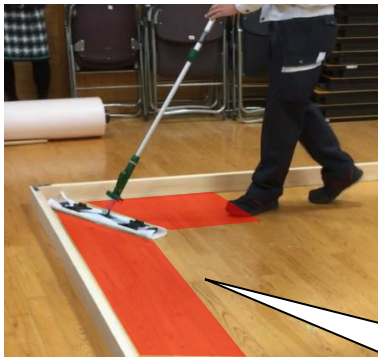
- 幅木や 机 の脚に当たらないように気を付けて作業します。
- ダスタークロスは最後まで持ち上げないようにします。
- ごみを踏まないように、ダスタークロスをかけた後を歩くようにします。

ていりぐち
出入口



ていりぐち ひだりはし
出入口の左端にダスタークロスを合わせて構えます。ごみを踏まないように、写真のように自分が歩くスペースを除塵してからコート内に入ります。

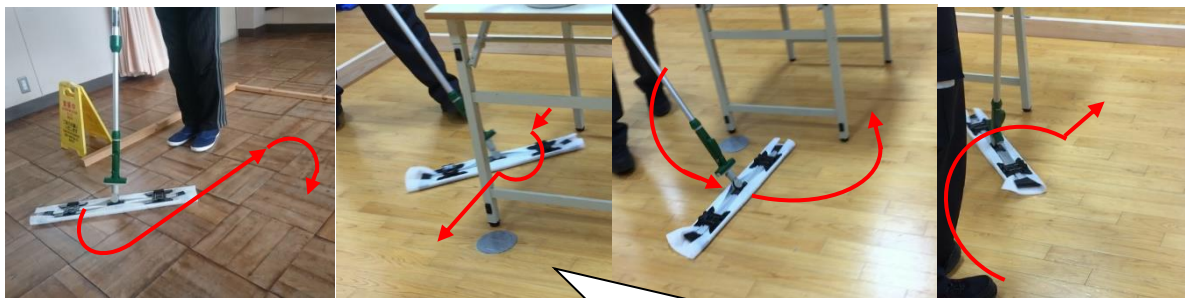
かべぎわ はばきがわ
壁際 (幅木側)



かべがわ すこ まえ だ
ヘッドの壁側を少し前を出して、まっすぐに押して
じょじん
除塵していきます。このとき壁にヘッドがぶつからない
ようちゅうい すみ はい
ように注意します。隅まで入ったらそのまま左へ
うご じぶん ある
ヘッドだけ動かし、自分が歩いていくスペースをつく
じぶん すす
から自分も進んでいくようにしましょう。

すみ ど
コートの隅はヘッドを45度にし、できるだけ隅まで
クロスを入れます。

つくえしゅうへん
机周辺



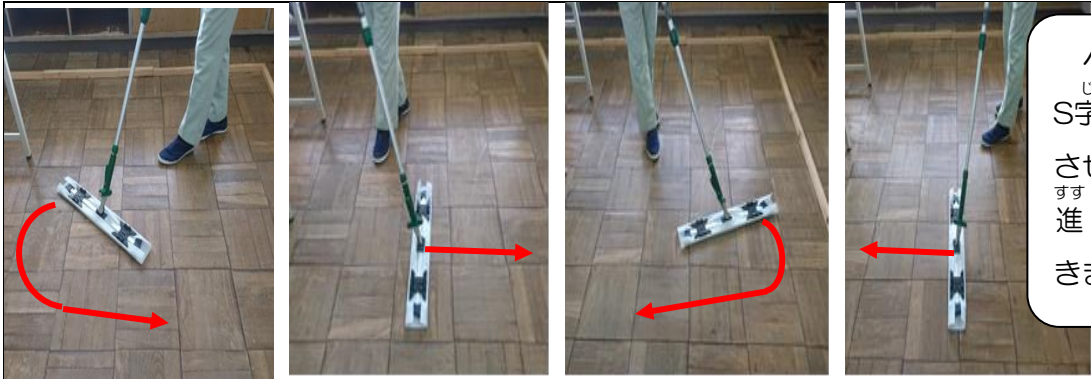
つくえ とお つくえ あし あ
机のわきを通るときは机の脚にヘッドが当たらない
よになな すす
うにヘッドを斜めにして進んでいきます。

いっしゅう も あ なが ちゅうおうぶ じょじん
一周したら、ヘッドを持ち上げず、そのままの流れでコートの中央部の除塵を
します。※ごみが取りきれなくても、戻ってはいけません。かえってごみが残る
げんいん のこ
原因になります。残ったごみは、後で自在ぼうきで取ります。

4

除塵作業
じょじんさぎょう

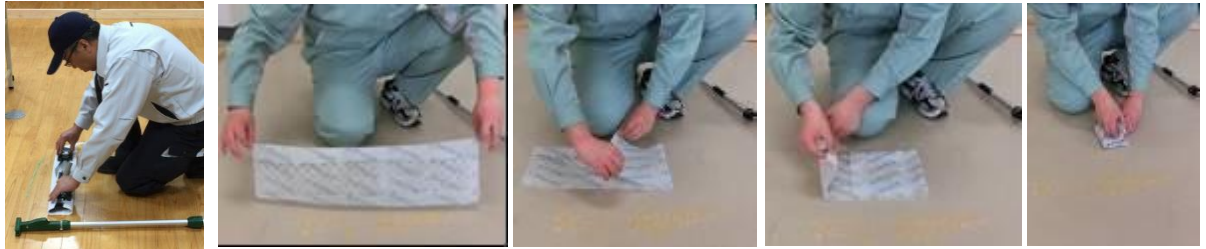
ちゅうおうぶ
中央部



ヘッドを
じ かけてん
S字に回転
させながら
すす
進んでい
きます。

5

ゴミの処理・点検
しより
てんけん



よこ めん うちがわ ぶくろ い
クロスの汚れた面を内側にしてたたみ、ごみ袋に入れる。

ゆか のこ しより
床に残ったごみの処理



ダスタークロスで
と
取れなかったごみ
は、自在ぼうきで
てばや と
手早く取りましょ
う。

てんけん
点検

かべぎわ よすみ
壁際・四隅

ちゅうおう
中央



と のこ
取り残しなし。

よすみ ちゅうおう
四隅と中央では、ごみの
と のこ てばや かくにん
取り残しを手早く確認します。
ごみがなければ、「取り残しな
ことば た
し。」と、言葉に出して言います。
※ごみの取り残しがあれば自在
と のこ
ぼうきと文化ちりとりで取りま
す。

6
退室・片付け
たいしつ
かたつ



じざい かべ た ゆか
ダスタークロス、自在ぼうきは壁などに立てかけず、床に
ね お お た お
寝かせて置くようにします。立てて置いておくと、ぶつかった
たお きけん かべ きず
とき倒れて危険ですし、壁を傷つけてしまうこともあります。

7
終了
しごと
しごと じかんない お たいせつ ころりつ かくじつ せいそう お どりよく
■仕事は、時間内に終わることが大切です。効率よく確実に清掃を終える努力を
しましょう。

【ダスタークロス】 評価表

ひょうかひょう

せいげんじかん ぶん
制限時間 6分

が 月 にち
日

	こ う 目	ひょうか 評価	ひこう 備考	
1	① <small>み ととの</small> <input type="checkbox"/> 身だしなみを整えている。 ※身だしなみ評価表を参照			
2 道具準備	① <small>どうぐ かくにん た</small> <input type="checkbox"/> 道具を確認し、足りないものがあれば、報告する。			
	② <small>と つ</small> <input type="checkbox"/> クロスをヘッドにたるみがないように取り付ける。			
	③ <small>え なが め はな たか ちょうせつ</small> <input type="checkbox"/> 柄の長さを目～鼻の高さに調節する。			
3 作業開始	① <small>てきせつ こえ おお たいど さぎょうかいし つた</small> <input type="checkbox"/> 適切な声の大きさや態度で作業開始を伝える。			
	② <small>さぎょうひょうじばん てきせつ いち お</small> <input type="checkbox"/> 作業表示板を適切な位置に置く。			
4 除塵作業	持ち方 ① <small>え せんたん おやゆび お</small> <input type="checkbox"/> 柄の先端を親指で押さえる。 ② <small>いっぽう て じゅんて え にぎ</small> <input type="checkbox"/> もう一方の手は順手で柄を握る。			
	掃き方	<input type="checkbox"/> ごみを踏まないように、作業を進める。		
		<input type="checkbox"/> 幅木や 机の脚にヘッドを当てない。		
		<input type="checkbox"/> 中央部は、ヘッドを半回転させながら左右に振る。		
		<input type="checkbox"/> 集めたごみが常に前にくるよう、ヘッドの向きを変えない。		
		<input type="checkbox"/> 途中でクロスを浮かさず、最後まで除塵する。		
		<input type="checkbox"/> 決められた順番で掃き進め、ごみを集める。		
	積み重ね	<input type="checkbox"/> 無理のない姿勢や正しい構えで作業を進める。		
		<input type="checkbox"/> クロス <small>よご めん うちがわ</small> の汚れた面を内側にしてたたみ、ごみ袋 <small>ぶくろ い</small> に入れる。 <input type="checkbox"/> 文化ちりとり <small>ぶんか なか</small> の中にほうきの先半分 <small>さきはんぶん い</small> を入れるようにして、取り残 <small>と のこ</small> しがないようにごみを取 <small>と</small> る。		
	5 点検	① <input type="checkbox"/> ごみの取り残 <small>と のこ</small> しはないか確認し、取り残 <small>と のこ</small> しているごみがあれば取 <small>と</small> る。		
6 片付け	① <input type="checkbox"/> 使用した道具をすべて資機材置場 <small>しきざいおきば ちど</small> に戻す。			
7 作業全体	① <input type="checkbox"/> 適切な声の大きさ・態度で挨拶や報告をする。		※発語がない場合は手を挙げて合図する。	
	② <input type="checkbox"/> きびきびした行動 <small>こうどう</small> で、スムーズに作業を進める。			
かかった時間		ぶん 秒	かす ○の数	

コメント

きゅう 級

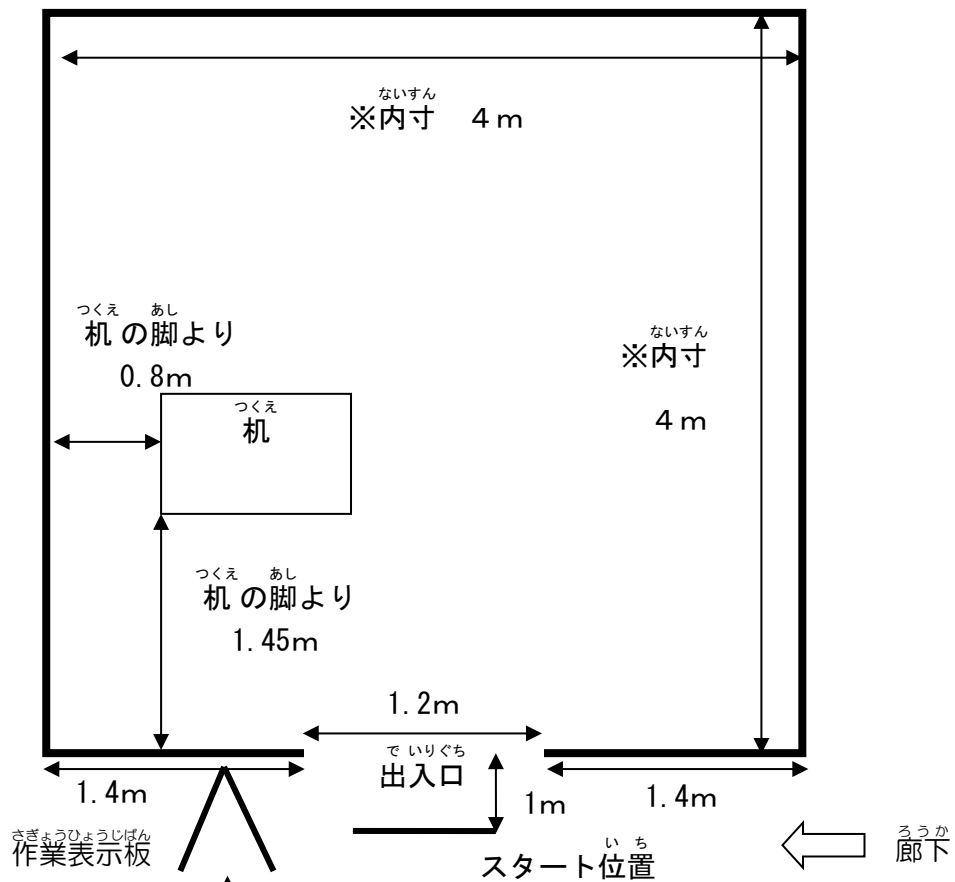
かす ○の数	1,2	3,4	5,6	7,8	9, 10	11,12	13,14	15	16	17
きゅう 級	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

- できていない評価項目に☑を入れます。評価欄の枠内の全ての課題がクリアできれば○がつきます。
- 制限時間6分を超えた場合は、その時点で検定を中止し、級外とします。

ば せってい 《場の設定》 ダスタークロス

- 1 テープ又は幅木により区画されたおよそ $4\text{m} \times 4\text{m}$ の範囲を試技コートとします。
- 2 テープ又は幅木の上には壁があるものとして作業を行います。
- 3 試技コートにある机は移動させないこととします。
- 4 資機材について
クロスは、ヘッドの大きさ 63cm のものを使用します。
ほうきは、自在ぼうき（毛幅 30cm のもの）を使用します。

はいちず かいじょう つごう へんこう
配置図（会場の都合で変更することがあります。）



※出入口の前は、廊下の設定です。
※作業表示板は、出入口付近の通行の邪魔にならない場所に置きます。
また、廊下を通行する人が遠くからでも清掃中であることが分かるように、見えやすい向きに置きます。
シート上で準備をします。

